



▲タイラバでムシガレイ



▲当日の最大1.3キロ



★マダイは見事なプロホーションの1キロ級主体

▶第3潮丸は大型船で釣り座はゆったり



▲当日は大ダイらしきバラシが頻発、ドラッグ調節は万全に！
▼根周りでカサゴ連発



▲▼ハナダイは大小交じる



▲▶テンヤで底をたたくとホウボウが食ってくる
◀▼アジは30~40センチ級の良型



▲メタルジグでキャッチ
▶トップ20枚以上の好日も見られる



▲メバルも交じる



◀スロジギで1.5キロのタコが上がった

総じて浅いのだが、この時期は水深50メートル以上の深場を狙うこともあるという。テンヤは8~10号を中心に13~15号もあると安心だ。
(詳細は54ページ参照)

ガレイ、ホウボウなど多彩な魚が顔を出し、にぎやかな一日を過ごすことができた。
潮田船長によると飯岡沖のマダイ釣り場は

釣り物豊富な九十九里飯岡エリアで、周年楽しめる人気メニューの一つテンヤマダイ。飯岡港の第3潮丸で取材した2月下旬も総勢16名が集まる盛況ぶり。当日は飯岡沖に点在する魚礁やツブ根周りの水深30~40メートル付近を流し、最大1.3キロのマダイを筆頭にハナダイ、アジ、カサゴ、メバル、ムシ



▶タナは底付近を中心に5メートルくらい上まで探る



▲エサは7~8センチの冷凍エビ

九十九里飯岡港出船 マダイ、ハナダイ、根魚のさ。春海を彩る飯岡の二つテンヤ

撮影◎鈴木良和